

# かがや 輝き

地域の強固な  
サポートづくりを  
目指して



桂泉会リハビリセンター部  
今年度目標

「最新の情報収集やリハ機器等の充実を図り、  
先進的なリハビリテーションを実施し、皆様のニーズに答えていきます」

## ノーリフトとは？



日本では一般的に行われている人力による移乗などの介助が原因で、介護職の方の「腰痛」を引き起こすケースが多く問題視されています。そのため、色々な対策が行われていますが、解決には至っていません。長期間の痛みと闘いながら介護を続けていたり、腰痛が原因で離職するケースもあります。人材確保の面からも早急な対応が望まれています。その腰痛問題に対する取り組みの1つとして、人の力だけで抱え上げない手法「ノーリフト」があります。

ノーリフトは、オーストラリア看護連盟が看護師の腰痛対策として1988年にスタートしました。「ノーリフト・ポリシー」として危険や苦痛を伴う人力のみでの移乗を禁止し、患者さんの自立度を考慮しながら福祉用具を使って移乗介護をすることを義務付けました。日本でも2008年頃から、この取り組みが始まっています。無理な抱え上げは介護者のみならず、介護される側の人にも負担になる場合もあります。

介護される側の状態に合わせて、福祉用具を有効活用し取り組む事が必要です。決して福祉用具を必ず使うことが目的ではなく、介護者・介護される側双方に「安心で安全な介護の提供」をする事で、健康的な生活を保障できるケアを実践することを目的としています。



イージークライド



スライディンググローブ



モーリフト



リショーネ

## 岩手リハビリテーション学院 作業療法学科 就職説明会に参加しました！

令和2年8月21日(金)に岩手リハビリテーション学院様と当法人みやびをインターネットで介したテレビ電話でつなぎ、就職説明会を行いました。当法人の持ち時間は20分と限られた時間内でありましたが、5名の学生さんが説明を聞きに来てくださり、各施設とリハビリの仕事の紹介をしました。初めて画面越しのお相手に話してみたのですが、上手く説明しよう、きちんと映ろうなどの余計な雑念(笑)が入り緊張も相まって、あっという間に制限時間となってしまいました。

今回は、コロナ対策のためテレビ電話での面談となりましたが、昨年までは思ってもいない形での開催となりました。これから新たな仕事の仕方が生まれると思います。リハビリも例外ではないので、しっかりと対応していきたいと思えます。



## ①エアロバック（株式会社 サステクノ様）

令和2年7月27日(月)に太陽荘で行われた、「エアロバック」という、空気力で姿勢保持に特化したアシストスーツのデモンストレーションに参加しました。物の重量を軽くしてくれるものではありませんが、中腰姿勢で行う動作での腰部への負担が軽減されるという物です。私たちの仕事は様々な体勢をとる事が多く、腰痛持ちの方や中腰姿勢で過度の動作を継続的に行う場合には、使用する事によって楽に業務ができるのではないかと感じました。



## ②リショーン Plus（株式会社 パナソニック様）

令和2年8月24日(月)に太陽荘で行われた、パナソニックの離床アシストロボット「リショーン Plus」についてご紹介致します。「電動ケアベッド」と「車いす」を融合させた商品です。複雑な操作がいらす、分離と合体が短時間で可能です。これにより、2人で行っていた移乗介助を1人でも、簡単・安心・スムーズに行う事ができます。「リショーン Plus」は持ち上げない移乗介助であるため、ケアスタッフの腰部への負担軽減や利用者様のケガ・転落などの身体的・心理的負担の軽減が期待できます。



### 編集 後記

世界中に蔓延する新型コロナウイルス。毎日の様に新規の感染者数が報道され、終息の兆しが見えません。この未知の感染症がもたらす不安と恐怖から、衛生意識が高まり、防疫の重要性を改めて実感しました。今後も根気強く感染対策に努めるとともに一日も早い安全なワクチンや治療薬の実用化が待たれます。

【H・T】



**当法人では、一緒に働くリハビリの仲間を募集しています！！**  
**施設見学も随時、対応しています。**  
**詳しくは下記の担当者までご連絡ください。**

当誌「輝き」に関するお問合せ